



ドゥイブス・サーチ  
代表医師

高原 太郎

1989年 秋田大学医学部卒業 慶應義塾大学附属病院小児科に就職し、小児科医としてスタート。

日本にMRIが導入されることを知り、放射線科医に転向。その後MRIの診断だけでなく、患者さんの撮影や撮影法の開発にも従事。同時に在宅高齢者に対する訪問診療も行う。

2004年に、PETと同様の画像が無被曝で得られるドゥイブス法（DWIBS法）を考案。

オランダに招聘されて超高磁場 7 テスラMRIのオープニングスタッフとして働きながらDWIBS法の改良を加え、世界初の末梢神経描出に成功（NEJM）。

2010年に帰国し、東海大学工学部（医用生体工学科）教授として着任。医学系講義を学生に行いながらMRIの研究を続けている。

### 現在の活動：

- 無痛MRI乳がん検診（ドゥイブス・サーチ）代表医師
- 東海大学工学部医用生体工学科 教授
- 聖マリアンナ医科大学放射線科 臨床教授

## ドゥイブス・サーチの特徴

- 「痛くない・見られない」を世界で初めて実現した乳がん検診
- 極めて高い精度（癌発見率 1.52%、陽性反応的中率 28.7% (n=1600)）
- インプラント、術後、授乳中でも受けられる

## ドゥイブス・サーチの歩み

- 2018年3月 設立
- 2019年3月 提携病院数が12病院に達する。
- 2020年3月 提携病院数が17病院に達する。
- 2021年2月 「世界一受けたい授業」などのTV番組で紹介される
- 2021年7月 VERY・女性自身などの雑誌で紹介される
- 2020年3月 コロナ禍でも受診者数が3年連続で増加する。
- 2021年9月 提携病院数が30病院に達する。
- 2024年1月 提携病院数が60病院に達する。累積受診者数3万人を突破。